

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和8年度・第3回）議事概要

日時 令和8年（2026年）6月10日（水）14:00～16:00

場所 宝塚市役所 第2庁舎 会議室A・B

出席者

＜まちづくり協議会＞

まちづくり協議会名	参加者名・役職	参加方法	
		対面	オンライン
仁川まちづくり協議会	井手 義明会長	●	
宝塚市高司小学校区まちづくり協議会	川島 昭会長	●	
宝塚市良元地区まちづくり協議会	平田 武二会長	●	
宝塚市光明地域まちづくり協議会	小林 敏明会長	●	
宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会	加藤 富三会長	●	
宝塚市西山まちづくり協議会	久保田 洋一会長	●	
まちづくり協議会コミュニティ末広	溝本 直人代表	●	
宝塚第一小学校区まちづくり協議会	坂本 敏会長	●	
逆瀬台小学校区まちづくり協議会	石谷 清明会長	●	
宝塚市すみれが丘小学校区まちづくり協議会	島津 早苗代表	●	
宝塚小学校区まちづくり協議会	喜多 毅会長	●	
売布小学校区まちづくり協議会	菅野 伸和会長	●	
小浜小学校区まちづくり協議会	藤本 真砂子会長	●	
宝塚市美座地域まちづくり協議会	糸瀬 豊光代表	●	
安倉地区まちづくり協議会	岡本 康夫会長	●	
宝塚市長尾地区まちづくり協議会	阪上 良彦会長	●	
中山台コミュニティ	松下 義弘会長	●	
宝塚市山本山手地区まちづくり協議会	末永 一樹代表	●	
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会	前田 幸夫会長	●	
宝塚市西谷地区まちづくり協議会	二井 久和会長	●	

＜その他＞

市民交流部 古南部長、新城次長

市民協働推進課 和田係長、押川職員他

市立病院経営統括部（新病院建設担当） 古寺課長

教育企画課 平石係長

宝塚市社会福祉協議会 地区担当支援課 前蘭課長他

宝塚 NPO センター 平岩氏他

議事概要

1. 自己紹介・自己紹介ゲーム「積み木式自己紹介」

各グループに分かれて積み木式自己紹介を行ったのち、全体共有を行った。

2. 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和8年度・第2回）議事概要の確認

各まちづくり協議会代表者により、上記議事概要の確認が行われ、ホームページへ公開することが承認された。

3. 令和8年度まちづくり協議会代表者交流会の活動について

市民協働推進課より、標記について、配布資料に基づいて説明があった。質疑応答の内容は以下のとおり。

- ア ひきこもりの方は私たちの地域でも何人か見受けられる。ひきこもりの方が抜け出して、活動を始められた事例を把握している方がいれば、差し支えない範囲で事例をぜひ紹介してほしい。
- イ （市民協働推進課）11月にワークショップと10月にそれに向けた事前学習を計画している。講師の方と相談しながら進めていこうと考えているが、事前学習について今考えているのは、ひきこもりの基礎知識を勉強して、皆さんに事前に知っていただくという内容である。11月のワークショップについては、元引きこもりの当事者やそのご家族、支援していた方に来ていただいて、グループワークの中で皆さんと話をすることによって、まちづくり協議会としてどんなことができるのか、つながっていただくきっかけを考えている。当事者の方について、社会福祉協議会や市のせいかつ支援課と協議をして、お声がけできる人を検討し、本日承認を頂けたら本格的に進めていこうと思う。何グループかの元当事者の方、ご家族の方、支援者の方をお呼びして、グループワークをしていこうという流れである。
- ウ 今年から参加しているため内容の流れが分からないが、まちづくり協議会代表者交流会の中でひきこもりは大きなテーマだと思うが、なぜこのテーマが今年選ばれたのか。
- エ （市民協働推進課）代表者交流会は毎月第2水曜日の14時から16時に開催している。代表者同士で交流いただき、色々な情報を知って、それぞれの町で活動の活性化を図る目的でさせていただいている。主な内容は、地域の方からいろんな情報をもらったり、市から知ってほしいことを情報提供させていただく。それ以外に、皆さんでワークショップを含めて重点的に学ぶ機会や知る機会を作りたいというところで、毎年1つか2つのテーマに取り組んでやっている。テーマについては、該当年度の座長・副座長と市で検討を進めて、6月の代表者交流会でお知らせしている。以前は防災を集中してやったり、昨年は交流を深めるようなことをしたり、様々なことに取り組んでいる。その中で今年度はひきこもりをピックアップして、ひきこもりの方が少しでも地域に入ってくださいきっかけを作ることによってひきこもりの方の支援にもなるし、まち協にとって、その方がどんどん地域に入っていただければ担い手にもなるのではないかというところも見据えて、今回テーマとして座長・副座長と協議して提案させていただいた。

4. 宝塚市新病院整備基本計画書【基本部分】に係るパブリック・コメントの実施について (市立病院経営統括部(新病院建設担当))

市立病院経営統括部(新病院建設担当)より、標記について、配布資料に基づいて説明があった。質疑応答の内容は以下のとおり。

- ア 交通アクセスについて敷地内循環バスとあるが、これは文字通り病院の敷地内ということか。
- イ (経営統括部) 基本的にはそのように考えている。第2駐車場や第3駐車場から距離があるため、中で循環できないか考えている。
- ウ 病院へのアクセスについては、別途検討されるということか。
- エ (経営統括部) 宝塚モデルの中では医療の拠点である小浜エリアと福祉の拠点である売布のエリアをハードとソフトで連携できないか検討している。
- オ 病院へのアクセスは喫緊の課題なので、新病院計画とは別かもしれないがぜひ検討いただきたい。
- カ 昨年11月に市立病院で手術をし、3週間入院した。3週間のうち後半はリハビリだったが、入院している病棟からリハビリ室までがものすごく遠かった。行くだけでリハビリになって、往復すると疲れてしまうような構造だった。そのあたりを考えていただきたい。
- キ (経営統括部) おっしゃるとおりだと思う。新病院について、今は横広の建物だが縦方向の階層になり、おそらく8階建てになると考えている。エレベーターで移動でき、関連する診療科が近くになるように考えているため、今よりは格段に便利になると考えている。
- ク 仁川は川1つ超えると西宮市なので、診療科によっては西宮市の医療機関にかかることが多い。待合室に〇〇病院と連携していると張り紙が貼ってあるが、西宮市の医療機関には宝塚市立病院と連携していると書いていない。伊丹市の病院や県立の病院の張り紙はあるが、宝塚市立病院は西宮市の医療機関とは連携はしていないのか。それとも詳細な検査を受けるときに、宝塚市立病院を希望すれば紹介状を書いていただけるのか。
- ケ (経営統括部) 宝塚市立病院を西宮市にPRできていないということか。紹介状を書くという連携のことであれば、当然お互いに得意なところがあるので紹介し合って、連携していると聞いている。チラシがあるかはわからないため、持ち帰って確認する。
- コ 地域完結型と書いているので、市内で完結することを強調するのはどうなのかと思った。
- サ (経営統括部) 兵庫県で計画を立てており、医療圏域を決めている。阪神間が1つの圏域で、その中でどう医療ニーズを対応していくかという考え方を示している。三田市や猪名川町、川西市で病床や診療科が足りていると言われても、宝塚市民からするともっと近いところに欲しいと思われると思う。そういう意味で市内のニーズを市内で完結していくことは皆さんの安心安全になると考える。もちろん、全部市でやり切ることは非効率なので、市内で受けきれない部分は圏域ごとに担っていくという考え方がある。
- シ 市民説明会は1回だけか。地域的に東西南北あるので、回数やエリア的を増やしていた

だいて、予定では1回だけかもしれないが、丁寧な説明をしていただきたい。

- ス （経営統括部）個別に地域に来て説明して欲しいとお声がけいただけたら、積極的にや
っていかうと考えている。日程が合わず振替でやってほしいとの声を頂けたら喜んでや
るし、地域に来て欲しいとのことであれば対応させていただく。7/12の市民説明会があ
まり集まらなないと第2回をやりにくいいため、ぜひお越しいただけたらと思う。

5. 屋内運動場（体育館）空調設備使用方法と利用明細書の交付について（教育企画課）

教育企画課より、標記について、配布資料に基づいて説明があった。

- ア 災害時における避難所の場合はどうなるのか。
- イ （教育企画課）災害時は災害時用カードを使用し、利用する想定である。
- ウ 誰がやるのか。真夜中の場合はどうするのか。
- エ （教育企画課）避難所開設のセットの中に災害時用カードを整備しており、従事者が当
該カードを使って空調を稼働させる。緊急時に二次元コード決済で支払って使う想定は
していない。
- オ 二次元コード決済のみの支払いだが、何とかほかの支払い方法もできないか。
- カ （教育企画課）課金盤の仕様を検討する際に、現金やプリペイドカード、その他支払いに
ついても検討した。利用者の費用負担を抑えるため、管理コストを抑制できる二次元コ
ード決済を採用した。
- キ これからは二次元コード決済かもしれないが、全員が使っているものではないため、過
渡期はそこを考えていく必要があると思う。
- ク （教育企画課）ご不便をおかけするが、二次元コード決済ができる参加者の方がいるか
事前に確認し、調整をお願いしたい。課金盤に使用マニュアルを設置し、どなたが見ても
利用しやすいように環境を整えている。
- ケ 学校体育館の利用について、利用できる団体・個人は誰が決めるのか。また、利用したら
助成金が得られる催しであるのか、そうでないのかの判断は誰が決めるのか。
- コ （教育企画課）学校体育館の利用にあたっては、学校に申し出をいただくか、教育委員会
に目的外使用許可の申請をしていただく。教育委員会の申請窓口は教育環境整備課であ
る。申請内容を確認し、利用可否を判断させていただく。
- サ （市民協働推進課）まちづくり協議会補助金の対象になるかというところで受け取った。
補助金の対象にするために利用料金明細の交付申請のルールを作った。まち協で行われ
る活動で、体育館を使われる時に、通常体育館を使うのは無料だったと思うが、時期によ
って空調を使いたいということであれば、1時間1400円かかるため、お支払いいただく。
ただお支払いいただいたときに、利用明細書があればまち協の補助金の対象経費になる。
- シ 事前申請しないとイケないのか。
- ス （市民協働推進課）体育館の使用は、当日言っていきなり体育館を使えるわけではない
と思うので、事前に申請していただく。空調については、使いたいときに課金盤にバーコ
ードを通すと使える状態になるので、二次元コード決済でお支払いいただき、そのあと
利用明細書が出るのでそれで補助金の対象経費にさせていただく流れになる。
- セ いままで防災訓練で体育館を使うときに、申請を出していないが、これから空調を使う

ときは事前に申請しないといけないのではないか。

ソ (市民協働推進課) 体育館を借りるときに、学校長の権限で貸している場合と、教育委員会の担当部署で貸している場合がある。学校長の権限で貸している場合に、いままで書面に残さず口頭で借りられる場合もあると思うが、体育館の使い方自体には今までとルール変更はなく、それぞれの各学校で今まで借りていたルールが引き継がれて、空調だけ使えるようになって、空調の使い方が新しく決まり、空調は事前予約なしに当日使いたければ機械操作をしていただいて使えるようになった。

タ 補助金をもらうには事前申請が必要なのではないか。

チ (市民協働推進課) 補助金の対象経費とするために空調使用の事前申請は必要ない。補助金については、二次元コードで支払っていただいて、後日、履歴を指定の様式に基づいて教育委員会に申請いただいたら利用明細書が発行され、その書類があれば補助金の対象経費とさせていただきます。

ツ あらゆるイベントに対して、補助対象となるということか。

テ (市民協働推進課) まち協補助金の補助対象経費にしているため、使えないイベントはほとんどないと思う。まち協が企画されるイベントで特定のイベントが対象外というケースはないし、するつもりもない。まち協で使っていただくイベントは対象経費になると思っていただいて大丈夫である。

ト スポーツ 21 のイベントは対象なのか。

ナ (市民協働推進課) 所管していないのでわからないが、それぞれのスポーツ 21 の考え方かと思う。スポーツ 21 は市の公金ではなくスポーツ 21 のお金と記憶しており、それぞれのスポーツ 21 が対象経費にするかしないかということかと思う。

6. 宝塚 NPO センターからのお知らせ

(1) 市民活動促進支援事業の受託について (事例紹介)

宝塚 NPO センターより、標記ついて、配布資料に基づいて説明があった。

7. 市民協働推進課からのお知らせ

(1) (※定期周知) 個人情報保護に関するお知らせ

(2) (※定期周知) イベント開催時における注意点

(3) つながりカフェの開催 (6 月・7 月) について

(4) HA・NA・SO のご紹介 (手をつなぐ育成会)

市民協働推進課より、(1)～(4) について、配布資料に基づいて説明があった。

8. 社会福祉協議会からのお知らせ

(1) ぼうむ Vol. 15 について

(2) 「福祉避難所を知ろう」について

(3) 令和 8 年度宝塚市社会福祉協議会 会員募集について

社会福祉協議会より、(1)～(3) について、配布資料に基づいて説明があった。

9. その他

- (1) まちづくり協議会チラシ等の周知方法について（宝塚小学校区まちづくり協議会 喜多会長）について

宝塚小学校区まちづくり協議会喜多会長より、標記について、質問回答の依頼があった。

- (2) 宝塚市シェアサイクル事業について

ア 先月、シェアサイクルについて質問し、説明いただけたと思っていたが、次回にでもお願いしたい。

イ （市民協働推進課）7月に予定している。ぜひ周知したいとのことで交通政策課も来てくれるので、期待してお待ちいただけたらと思う。

10. 今後の日程

市民協働推進課より、配布資料に基づき、今後の予定について周知があった。